

小貝川の水質事故対策を実施しました。

国土交通省関東地方整備局では、関東地方整備局・一都7県4政令市及び1独立行政法人で構成する「関東地方水質汚濁防止協議会」を設置し、河川等の公共用水域に係る水質汚濁防止を図るため、関係機関が協力しています。

平成21年10月26日(月)に小貝川の祝橋付近と大谷川の黒子堰上流に大量の油が浮いているとの情報が入り、国土交通省下館河川事務所は、茨城県・筑西市と連携して、下流側の取水を停止させないこと及び河川環境に影響を及ぼさないために水質事故対策を行いました。

下館河川事務所では、小貝川・大谷川の巡視を行い、小貝川30.0km平和橋付近、小貝川46.0km祝橋付近、大谷川3.8km黒子堰付近に大量の油が見られたので、下流側へ油が流れないように小貝川の3箇所におイルフェンスを設置しました。

茨城県は、筑西土木事務所が大谷川の2箇所におイルフェンスを設置し、県西県民センターと筑西市が大谷川の上流側で、原因調査を行い、油が混ざった排水をしていた工場があったので、茨城県が排水をしないように指導しました。

11月2日(月)に油の回収が完了し、設置したおイルフェンスは、撤去しました。

